

H-II B ロケット 7 号機及び H-II A ロケット 40 号機の 打上げ結果(安全確保状況)について(報告)

平成 30(2018)年 12 月 13 日

三菱重工業株式会社

執行役員フェロー 防衛・宇宙セグメント 技師長

二村 幸基

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

第一宇宙技術部門 鹿児島宇宙センター所長

藤田 猛

1. 報告事項(打上げ結果概要)

(1)H-II B ロケット 7 号機

宇宙ステーション補給機「こうのとり」7 号機(HTV7)を搭載した H-II B ロケット 7 号機を平成 30 年 9 月 23 日(日)02 時 52 分 27 秒(日本標準時)に打上げ、所定の軌道へ投入した。

本打上げは、当初平成 30 年 9 月 11 日(火)に打上げ日を設定していたが、打上げ前日から当日にかけて天候悪化が予想されたため、延期した。

その後、平成 30 年 9 月 15 日(土)に打上げ日を設定したが、ロケットの推進システムに確認を必要とする事象が生じたため、同日の打上げを中止し、平成 30 年 9 月 23 日(日)に延期したものの。

(2)H-II A ロケット 40 号機

温室効果ガス観測技術衛星 2 号「いぶき 2 号」(GOSAT-2)／観測衛星「ハリファサット(KhalifaSat)」を搭載した H-II A ロケット 40 号機を平成 30 年 10 月 29 日(月)13 時 08 分 00 秒(日本標準時)に打上げ、それぞれ所定の軌道に投入した。

また、本打上げ機会を利用して搭載した小型副衛星 4 基の分離を確認した。

上記打上げは三菱重工業株式会社が打上げ執行に係る業務を執行し、JAXA は打上安全監理に係る業務を実施した。

2. 安全確保業務の実施結果

JAXA は、飛行安全計画、地上安全計画及びその他の要領等に基づき、打上げに係る安全確保業務(射場整備作業の安全、射場周辺の住民への周知、打上げ当日の警戒、ロケットの飛行安全)及び関係機関に対する打上げ情報の通報(ロケット打上げの実施の有無に係る連絡、航空機及び船舶の航行安全のための事前通報並びに打上げ情報の周知)を行った。



H-II B・F7 打上げ



H-II A・F40 打上げ

投棄物(SRB-A、衛星フェアリング、第1段機体、第2段機体(H-II Bのみ))については、全て設定した落下予想区域内に落下したと推定している。

3. 次号機以降への対応

JAXA は、平成 30 年 10 月 24 日(水)に H-II B ロケット 7 号機、平成 30 年 12 月 3 日(月)に H-II A ロケット 40 号機の打上安全監理終了審査を実施し、打上げの評価を行い、次号機以降への反映事項を抽出した。

抽出された反映事項については、次号機以降に向けて処置を行う。

以上